

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名 一般国道127号 <small>こやすかくふく</small> 子安拡幅	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 関東地方整備局
起終点 自：千葉県君津市小山野 至：千葉県木更津市桜井		延長 10.7km
事業概要 一般国道127号は千葉県館山市から木更津市に至る延長約54.7kmの南房総における唯一の主要な幹線道路である。子安拡幅は木更津市（業務核都市）や君津市の都市化に伴う朝夕の交通混雑、また夏季の交通混雑の解消を図るとともに、沿道で展開している区画整理事業を支援し、地域の振興に大きく寄与することを目的とした、延長10.7kmの4車線拡幅事業である。		
S48年度事業化	S44年度都市計画決定（木更津地区） S50年度都市計画決定（君津地区）	S49年度用地着手 S49年度工事着手
全体事業費	約220億円	事業進捗率 93% 供用済延長 8.0km
計画交通量	31,100台/日	
費用対効果分析結果	B/C ： (事業全体) 1.5 (残事業) 1.9	総費用 ：(残事業)/(事業全体) 61/75 億円 (事業費：11/25 億円) (維持管理費：50/50 億円)
	総便益 ：(残事業)/(事業全体) 115/115 億円 (走行時間短縮便益：109/109億円) (走行費用減少便益：3/3 億円) (交通事故減少便益：3/3 億円)	基準年 ：平成16年度
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保 (現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される) ・物流効率化の支援(重要港湾である木更津港へのアクセス向上が見込まれる) 他7項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 子安拡幅は沿線市町村の交通混雑緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、木更津市、君津市から早期整備の要望を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 東関東自動車道(館山線)、東京湾アクアラインの供用などにより、年々交通量が増えている。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 現在までに、8.0km区間で4車線供用しており、残る2.7km区間を引き続き事業中。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 地元より中央分離帯の開口を強く要望されており、公安委員会及び地元との調整を進めてきており、平成18年度内全線供用予定である。		
施設の構造や工法の変更等 施工にあたっては、建設発生土の有効利用や新技術・新工法の積極的活用を図り、コスト縮減に努める。		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	
事業概要図	<p style="text-align: center;">事業再評価</p>	

- 事業全体の費用分析は、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を行っている。
総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。